

月刊

立川と語ろう 立川に生きよう

エくてびあん

(EKUTEBIAN-VOL.6. JUNE. 1989-EKUTEBIAN)

6

まい あーと

■ディスプレイ「夢の誕生」

by 瀬下亜理子

あの大空を 翔びたい!

両手をひろげ、大地をけって
あの大空を翔びたいと願った、幼い日
わたしはどうして鳥に生まれなかったの、と
お母さんにだだをこねた日

懐かしい日の「青空」は、いまわたしの内に
正直、いまでもわたしはあの大空が翔びたい
この街の、初夏のいろどりを

あの高みから、つぶさに眺めわたしてみたい
ひとりひとり声をかけて

元気かい、がんばってるねと

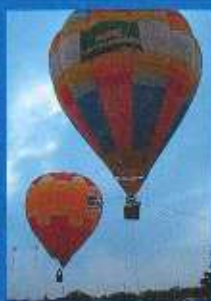
励ましのひとつも、贈ってあげたい

それから、もっと高くへ翔んでいって

小手をかざして、遠くをみれば

晴れた日ならば、「永遠」がみえるかも知れない

ああ、あの大空を翔んでみたい!



飛行艇は、大空を飛ぶ「空飛ぶ船」の一種で、エンジンで進むのではなく、風力を利用して進む。かつては、遠くまで物資を運ぶのに使われていた。現在は、観光飛行艇として使われている。

飛行艇は、大空を飛ぶ「空飛ぶ船」の一種で、エンジンで進むのではなく、風力を利用して進む。かつては、遠くまで物資を運ぶのに使われていた。現在は、観光飛行艇として使われている。



これらのもう一種は、知られた歴史を持つ、
飛行艇「アンソニー」の飛行艇。



空を飛ぶ「空飛ぶ船」の一種として、
飛行艇「アンソニー」の飛行艇。

▲風もみどり、大地もみどり▲



モンケキのプレゼントがあり、まさに、目も、口もたのしませてくれた一日。同時に、みどりの日にふさわしく、沖繩記念公園から贈られたランの花が千本、それぞれの手に渡され、プレゼントされた人の笑顔が印象的。

武蔵野の林、その往年のみどりをよび戻したいと、ケヤキ、クスギなどの若木が、「北の森植樹祭」で植えられ、みどり多かれの祈りが公園に満ちていた。

四月二十九日といえば、近年まれにみる大型連休の入口だったが、昭和記念公園の上空は見事なほどに晴れわたっていた。風もみどり、大地もみどり。

まさに「みどりの日」制定にふさわしい一日を立川の空の下で迎えたわけだ。

春らんまんの四月二十九日。この日は初めてむかえる「みどりの日」であった。

昭和記念公園では天皇、皇后両陛下をお迎えして「みどりの日制定記念式典」がおこなわれ(政府主催)両陛下はクスノキを植樹され、なごやかなうちに式典は進んだ。

公害のない国、みどり多い国土こそ国民の願いだが、平成元年の新しい志が打ち込まれたさわやかな、記念すべき一日であった。

また、この日は午

後から公園が無料開放され、立川市民を中心に四万人におよぶ人びとでにぎわった。

公園内の「みんなの原っぱ」では、グリーンフェスティバルの施設ステージが設けられ、多彩な催しで家族づれや若者の目をたのませていた。

なかでも人気をよんでいたのが、この日のために作られたタテ3メートル、ヨコ4メートルの台の上の特大大キ。

このケーキは大阪・花の万博の会場を模して作製されたもので、パビリオン、ロープウェイなどが功みに組み込まれている力作であった。

このデコレーションとは別にレ



と小さな輪が一つの大きな輪へ広がるように、「輪」結と名付けられた。今回歌われた、「詩」曲は一般から募集され、選ばれたもの歌うコーラスも、聞く観客も参加するコンサート「わっしょい」に融合、大輪の「和」をつけた。

と立日橋の中間辺りで約2万匹を川に放した。体長7〜8cmの鮎たちが、トラックの水槽からホースを伝い、まさに一気に川に躍り込んでいったが、やがて解禁となり釣り人の前にお目見得する頃は20〜30cm程になっていた。皆で美味しく知られた多摩川鮎。今は始どが放流に依っているが、「水も段々きれいになってきているしね」という支部長小川さんの言葉には、多摩川に寄せる想いがにじみ出ていた。

漢字テスト



多摩川の春鮎放流

去る4月19日、多摩川で鮎が放流された。これは多摩川漁業協同組合が毎年行っているもので、この日は琵琶湖産の鮎を府中から上流の各支部毎に順次放流、立川支部は日野橋

と立日橋の中間辺りで約2万匹を川に放した。体長7〜8cmの鮎たちが、トラックの水槽からホースを伝い、まさに一気に川に躍り込んでいったが、やがて解禁となり釣り人の前にお目見得する頃は20〜30cm程になっていた。皆で美味しく知られた多摩川鮎。今は始どが放流に依っているが、「水も段々きれいになってきているしね」という支部長小川さんの言葉には、多摩川に寄せる想いがにじみ出ていた。

恒例「クリーン多摩川」

6月4日(日)午前7時半よりJR中央線橋下広場集合にて恒例の「クリーン多摩川」がおこなわれる。

昨年参加した曙町の主婦山下さん「草はらをこぎながらゴミを拾い、時おり飛び立つ鳥たちを目でおいかける、なかなかいいもんでした」とはずんだ声で昨年の様子を語ってくれた。

表紙は語る

「始めて7年位になるから。平面より立体の方が楽しい好きで」と、デザイナーの瀬下亜理子さん。9年に4回「ウィル」9階ビューティー・タナカ美容室のショーウィンドーにポップな感覚をいっぱい盛り込んだ作品を展示、通る人たちの心にホットなひと時をあたえている。「作品までには色々な発想の入口があって、例えば素材や形、空間など、それによって夢を広げて作品にしていきます。今回は色を大切にしたいな、と思って作り直した。秋・冬と来したので、明るく可愛らしい、ピンクを基調に、あったかく、夢あるイメージを形に表現出来あがるかも……」。



月刊「えくてびあん」 第59号
平成元年六月一日発行
発行所 えくてびあん編集工房
東京都立川市富士見町2-20-15
パールビル1015号
電話 0425-240082
編集人 立井啓介
発行人 沖野善男
印刷所 株式会社 柳屋

みんなでわっしょい!

去る五月十四日(日)、立川市市民会館大ホールにて「MY LIVEをNEW EYEコンサート」わっしょい!が行われた。(主催)立川市社会福祉協議会ボランティア活動推進協議会)障害を持つ者も持たない者も、共に夢や希望を表現しあえた。

立川・ピピックス

と立日橋の中間辺りで約2万匹を川に放した。体長7〜8cmの鮎たちが、トラックの水槽からホースを伝い、まさに一気に川に躍り込んでいったが、やがて解禁となり釣り人の前にお目見得する頃は20〜30cm程になっていた。皆で美味しく知られた多摩川鮎。今は始どが放流に依っているが、「水も段々きれいになってきているしね」という支部長小川さんの言葉には、多摩川に寄せる想いがにじみ出ていた。



表紙は語る

「始めて7年位になるから。平面より立体の方が楽しい好きで」と、デザイナーの瀬下亜理子さん。9年に4回「ウィル」9階ビューティー・タナカ美容室のショーウィンドーにポップな感覚をいっぱい盛り込んだ作品を展示、通る人たちの心にホットなひと時をあたえている。「作品までには色々な発想の入口があって、例えば素材や形、空間など、それによって夢を広げて作品にしていきます。今回は色を大切にしたいな、と思って作り直した。秋・冬と来したので、明るく可愛らしい、ピンクを基調に、あったかく、夢あるイメージを形に表現出来あがるかも……」。



月刊「えくてびあん」 第59号
平成元年六月一日発行
発行所 えくてびあん編集工房
東京都立川市富士見町2-20-15
パールビル1015号
電話 0425-240082
編集人 立井啓介
発行人 沖野善男
印刷所 株式会社 柳屋

エテイオビアは独立国となった

が既に千頃という古い国で、アフリカでは珍しくアムハラ語といわれる「文字」と「言葉」を持っていて「文字」があるのは、それだけ歴史があるという事でしょう。

人口約四千万、面積は日本の約3倍、首都アディスアベバ(新しい花)の意)は標高約二千五百メートルにあり赤道に近いのですが一年中初夏の様です。エテイオビア人の顔はアラブ系の顔立ちに少し肌の色を濃くした感じで整っています。一九七五年の革命で帝制から軍事政権となり、最近やっと大統領が選ばれました。マルクス・レーニンを本とするソ連型社会主義体制のこの国は今、約20年続くエリトリアの内戦、飢饉、行き過ぎた社会主義体制等、様々な問題を抱えています。内戦の激化に伴い、男女の徴用も

エテイオビア

山田達三さん(担当) 青年海外協力隊員 在エテイオビア

それらが今のこの国の顔になっていく様です。革命以来、中国や北朝鮮の人や物が多いので私も間違えられますが、東洋人を見たらジャパナウイ(日本人)と言って貰えるよう市民層に溶け込んだボランティアをしていきたいと思っています。

立川クイズ

4月29日、昭和記念公園で行われた「グリーンフェスティバル」に天皇、皇后両陛下がお出でになられました。天皇陛下は以前にも立川にいられたことがありまして、何のためでしたでしょうか。

①飛行機の命名式のため ②遠足
③航空ショーにご臨席のため
【先月号の答え】
五川上水の通船を江戸幕府は水質保護のため不許可。明治2年許されて翌3年4月15日から羽村―内藤新宿間を月六回百艘が運行したが水が汚れて同五年五月廃止に

工房から

●4月29日は、去年までの昭和の御代には「天皇誕生日」、平成の世には「みどりの日」とかわったが、その元年に昭和記念公園で陛下ご夫妻をお迎えして植樹祭がおこなわれたことは意義が大きい。これで、テンテウウセツなどという表現も歴史の奥へ去ったのだろうか。●同じ日、公園上空にスカイダイビングを愉しんでいる人がいた。大空を駆けることは人間、太古からのユメだったのでなかったかと、時が時だけに感慨無量。●クリーン多摩川が堅実な活動をつづけ、今月も「有志一同」によって行われる。とかく掛け声だけに終わりがちなこの種の活動だが年をおうごとに活発化して、いまや「立川の誇り」だ。●交の秋、夜な夜な赤き、えくてびあん。

えくてびあん 新連載 AIR MAIL エアメール

エテイオビアは独立国となったのが既に千頃という古い国で、アフリカでは珍しくアムハラ語といわれる「文字」と「言葉」を持っていて「文字」があるのは、それだけ歴史があるという事でしょう。

多摩最大の店舗網

みなさまの暮らしやニーズに合わせて、幅広いサービスに幅広つとめています。

多摩のマイバンク 住まいる 多摩中央信用金庫

本店 〒190 立川市曙町2-8-28 ☎(0425) 26-1111 (代)

真如苑だより

どんなに曇っている日でも、お雨の日でも、ここは太陽のように迎り、照らしている人がいるものです。どうしたら心に太陽がさすのでしょうか。今月も明るい真如苑へどうぞ。

(今回は3時からです) (ご注意ください)

日時 6月15日(日) 午後3時〜5時

御本尊、真如宝物をはじめとして映画など盛りだくさんの用意がしてございます。立川市民(成人)に限らせて頂きます。

お申し込みは「えくてびあん」(本誌)を手に渡して頂く人へ。

えくてびあん

あーとさろん

幾つもの節を越えて流れ続けて来たこの人たちの音は、いつも自由で新しい。その求めてやまぬあーとへの思いが、聴く者の胸を時に甘く、時に激しく揺する。送り手と受け手の、心が共鳴する一瞬。

本連載は今月で終わらせていただきます
来月号よりの新企画に二期待ください

「周りは音楽になりたがっている音で満ちている。それを曲に生まれさせてあげられるのが嬉しい」。人気アニメ「聖闘士聖矢」「悪魔くん」の主眼歌の作曲者でもある。

◆シャンソン、カンツォーネを唄いて20年。特にカンツォーネではイタリアの新曲を原にとり、日本語版にして演奏、紹介した曲は数多い。



舟上七穂さん(歌姫)



マイク真本さん(歌)

◆「バラが咲いた」はフォークの草分け的存在としてあまりにも有名。この時シリーズでテレビに出演、前代未聞の事で是非の議論が沸騰したが、それが以後のテレビにおけるシリーズの「解禁」となった。